

太田市総合体育館 <全体概要>

プロジェクトのポイント

- 人口約22万人規模の太田市で計画された、収容人数5,000人の「観るスポーツ」を意識したコンパクトなアリーナで、**地方都市におけるアリーナのモデルケース**となりうる施設
- 企業版ふるさと納税活用**により、施設整備費約80億円の半額以上をホームチームのオーナー企業（(株)オープンハウス）が負担するという**新たな資金調達スキーム**
- 大型映像装置や音響設備、照明器具等、最新の設備**により、**新たな観戦・鑑賞の価値を提供**

施設概要

所在地／アクセス	群馬県太田市飯塚町1059番地1（太田市運動公園内）		
面積	敷地	約158,789㎡	延床 10,611.61㎡
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄筋鉄骨コンクリート造 3階		
観客席	メインアリーナ：計4,700席 1階 可動席1,752席、2階 固定席2,819席(車椅子席26席)、 3階 固定席129席		
	サブアリーナ：観客席なし		
付帯施設	VIPルーム	有り（貴賓室等）	
	飲食・物販	有り	
ホームチーム	その他	多目的ラウンジ、多目的室、放送室、審判控室等	
	ホームチーム	群馬クレインサンダーズ（B1）	
スポーツ興行	<ul style="list-style-type: none"> Bリーグ公式戦 コンサート、コンベンション等 		
防災機能	避難所拠点（大規模災害時の避難や避難所の支援に対応可能）		

施設写真



外観



メインアリーナ

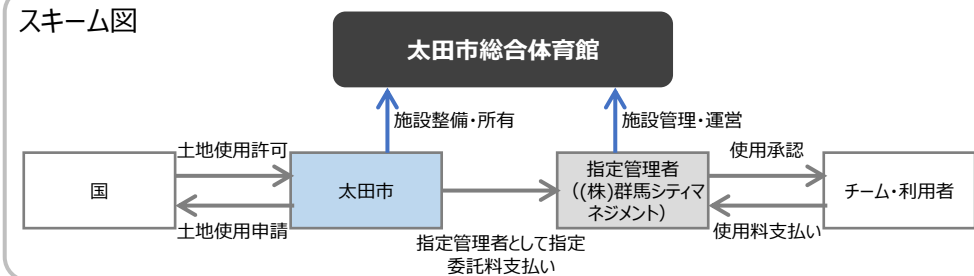


エントランス

事業概要

事業スキーム	国有地において、太田市が設計・施工一括プロポーザル方式によりアリーナを整備し、指定管理者制度の活用により株式会社群馬シティアマネジメントが管理運営を行う。 施設名称には、ネーミングライツが導入される。		
事業主体	太田市		
所有者	土地：国	建物：太田市	
整備方法	太田市による整備		
資金調達	地方創生拠点整備交付金、企業版ふるさと納税等を活用		
管理・運営方法	指定管理者制度により、(株)オープンハウス（群馬クレインサンダーズのオーナー企業）のグループ会社である(株)群馬シティアマネジメントが運営		
事業期間	整備：2021年6月～2023年4月（工期）1年10ヶ月		
	運営：2023年4月1日～2028年3月31日（指定管理期間）5年		
事業収支（百万円）	整備費	7,667	管理運営費 197
	利用料収入	47	総収入 197
行政の役割・支援	スタジアムの整備・所有、指定管理者の指定、関係機関と連携等		

スキーム図



太田市総合体育館 <参考ポイント>

【参考ポイント①】顧客経験価値の向上

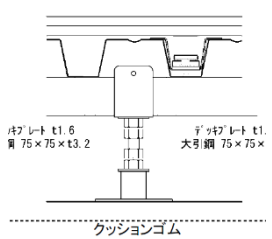
- 大型映像装置や音響設備、照明器具等の**最新設備**の整備や**座り心地の良い座席**、**VIPルーム・ラウンジ**等の設置により、「観るスポーツ」としての**新たな観戦価値**が提供されるような計画である。
- 様々なイベントに柔軟に対応するための**可動観客席**や**大型搬入口**等の計画、**地域の防災拠点**として利用できる施設計画が実施されている。



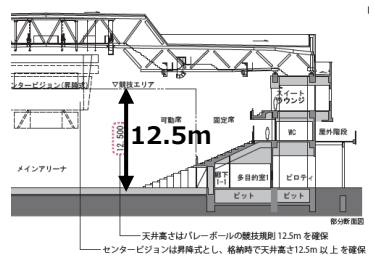
最新の映像・音響・照明設備 様々なイベントに対応可能なアリーナ VIPルーム・ラウンジ

【参考ポイント②】多様な利用方法や用途の実装

- コートが**各種競技の必要寸法を確保**できる計画である。
- 多目的室**は、利用目的に応じて用途が変えられる計画である。
- 可動席**により、各種イベントの**用途に応じたレイアウト**が可能である。
- 鋼製床仕様**により、イベントやスポーツ競技大会、避難所利用が可能である。耐荷重が5tであり、**仮設重量物設置**にも対応可能である。
- 昇降式の映像装置により各種競技の必要天井高さが確保できるよう計画されている。（格納時にバレーボール競技規則12.5mを確保）



鋼製床構成図



各種競技に対応できる天井高さ

【参考ポイント③】民間活力を活用した手法の採用

- 企業版ふるさと納税**の活用により、建設費の約50%以上に相当する約44億円が寄付で賄われている。
- ネーミングライツ制度**の導入により、ネーミングライツ料が維持管理費の一部に充てられる。
- 整備について、**設計・施工一括プロポーザル方式**が採用され、「観るスポーツ」のためのアリーナ整備に関して実績豊富な事業者が選定されている。
- 指定管理者として、ホームチーム（群馬クレインサンダーズ）の関連企業（(株)群馬シティマネジメント）が選定されることによって、**アリーナのメインコンテンツであるホームチームと市が連携した施設管理**が可能となっている。

太田市総合体育館	地方創生に資する機能	企業版ふるさと納税 地方創生拠点整備交付金
	一般的な市民体育館の機能	市の自主財源

建設費内訳のイメージ

【参考ポイント④】顧客・利用者の把握と情報の提供

- 新たなアリーナを活用した賑わい創出のため、旅行業者や商工会議所等と連携した**ワークショップ**が開催され、アリーナを活用したまちづくりに対して地域住民等の意見が取り入れられている。
- 利用者への情報提供や期待感向上のため、**アリーナ開業前より専用サイトが公開**されている。
- ホームチーム企業（(株)群馬プロバスケットボールコミッション）との**地域活性化に関する包括連携協定**を通じ、アリーナと連携した青少年健全育成や地域安全に関する取組（挨拶運動やバスケットボール教室等）が可能となっている。



アリーナの開業前専用サイト